

1. 砂糖はいつから使っているのでしょうか。次の文を読んでみましょう！

「砂糖の歴史」

あなたはケーキやジャムや和菓子を作ることができますか。ケーキもジャムも和菓子も、作る時に砂糖を使いますが、人はいつから砂糖を使っているのでしょうか。

今から四千年前、インドではもう砂糖を使っていました。しかし、その時、まだヨーロッパの人や日本人は砂糖を知らませんでした。7世紀になって、中国人も砂糖を作ることを習いました。そして、8世紀に中国のお坊さんが日本に持って来ました。その時、日本で砂糖はとても高かったので、お金持ちの人が病気の時にだけ砂糖を食べることができました。元気がなかった人が砂糖を食べると、少し元気になりましたから、この時代に砂糖は薬でした。

ヨーロッパに砂糖が入ってきたのは11世紀ごろです。ヨーロッパでもお金持ちの人しか砂糖を食べることができませんでしたから、日本と同じで、病気になった時に元気を出す薬でした。

14世紀、ようやくヨーロッパでも砂糖を作ることができて、お金持ちではない人もあまいものを食べるすることができました。

日本では16世紀になって、ポルトガルからたくさんの方が長崎に来ました。この人たちは日本人にキリスト教を教えに来ましたが、ポルトガルのお菓子やこんぺいとうなどもいっしょに持って来ました。

17世紀、こんどはオランダ人が長崎に来るようになりました。この人たちは日本にたくさんの砂糖を売って、日本から金や銀をヨーロッパに持って帰りました。こうして、日本にたくさんの砂糖が入ってきたから、この時代から砂糖はもう薬ではなくて、あまくておいしいものになりました。そして、和菓子も作り始めました。

みなさんは和菓子を見たことがありますか。食べたことがありますか。ブダペストには色々なカフェがあります。日本のカフェをさがしてください。そこで和菓子を見ることができます。そして、食べることもで

きます。



どらやき



だんご



いちごだいふく

ブダペストの日本カフェで食べることができる和菓子

2. 次の文を読んでください。上の文と同じものはどれですか。同じ文には()に○を、同じではない文には×を書いてください。

- () むかしから日本人は砂糖を作ることができました。
- () 砂糖はまずポルトガル人が日本に持って来ました。
- () 日本でもヨーロッパでもむかしは砂糖が薬でした。
- () 日本のお坊さんが中国へ砂糖を持って行きました。
- () 16世紀に日本人はポルトガル人から金や銀を買いました。
- () 17世紀にオランダ人は日本人に砂糖を売りました。
- () むかし、日本人は金や銀で砂糖を買いました。

3. 皆さんの生活で身近にあるもの、例えばパプリカとかコーヒーとか、あるいは食べ物ではなくて、コンピューターとかマッチなどはいつ頃からハンガリーで使われているのでしょうか。誰がハンガリーに持って来たのでしょうか。インターネットを使って、調べてみましょう。

【参考サイト】

Wikipedia 砂糖

<<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%A0%82%E7%B3%96#.E6.97.A5.E6.9C.AC>>

Wikipedia 菓子

<<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%8F%93%E5%AD%90#.E6.97.A5.E6.9C.AC.E3.81.AB.E3.81.8A.E3.81.91.E3.82.8B.E8.8F.93.E5.AD.90>>